科学研究費助成事業（科研費）～学術研究を支える競争的資金の充実～

平成２５年度概算要求額	：240, 132百万円（※）
（平成２４年度予算額	：256, 610百万円）
平成２５年度助成額	：232, 690百万円（※）
（平成２４年度助成額	：230, 690百万円）
【対前年度	：　2, 000百万円】

【平成25年度概算要求の概要】

科研費はすべての研究活動の基盤となる「学術研究」を幅広く支援することにより、科学の発展の種をまき芽を育てる上で大きな役割を果たしており、対前年度２０億円増の助成額を確保するとともに、基金化対象種目を更に拡大。

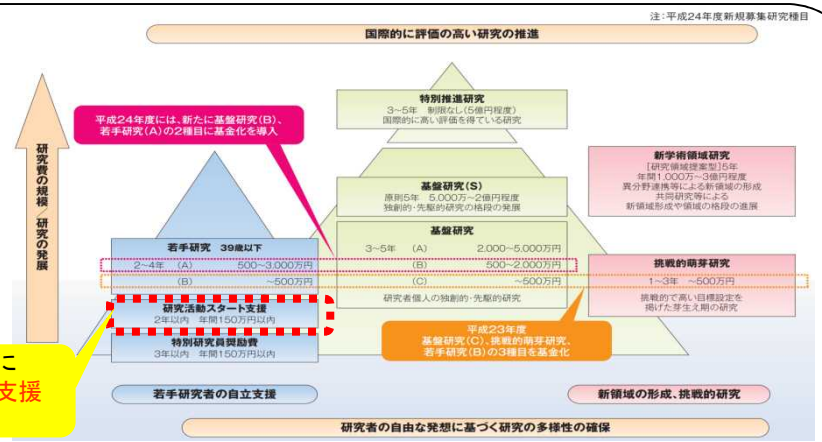
＜平成２５年度において、具体的に以下の制度改革等を実施＞

◆基金化対象種目の拡大

○研究機関に採用されたばかりの若手研究者や育児休業等から復帰する研究者等を支援する「研究活動スタート支援（※）」について、「複数年度研究費の改革」（基金化）を図る。

※研究期間２年以内、単年度あたり１５０万円以下の種目

また、平成23年度に基金化した種目の検証結果等を踏まえ、基金化拡大のための新たな仕組み（できるだけ予算増を伴わない基金化）の構築を目指す。



◆「研究成果公開促進費（学術定期刊行物）」の改善

○「研究成果公開促進費（学術定期刊行物）」について、ジャーナルの電子化やオープンアクセス化など学術情報の国際発信力強化に向けた新たな取組等を支援するため、種目名を「国際情報発信強化」にするなどの改善を図る。

◆日本学術振興会への審査・交付業務の移管

○「研究成果公開促進費」について、日本学術振興会において業務を一体的に行うため「研究成果公開促進費(研究成果公開発表)」の審査・交付業務を移管する。

【※補足】平成23年度から一部種目について基金化を導入したことにより、予算額（基金分）には、翌年度以降に使用する研究費が含まれることとなったため、予算額が当該年度の助成額を表さなくなったことから、予算額と助成額を並記している。

科研費
KAKENHI